

# SqView のダウンロードとセットアップ手順

2026年5月4日

## SqView のダウンロード手順

SqView の初期画面 (<http://www.sqview.se/>)

下の初期画面から **Download** をクリックします。

セキュリティ保護の無いサイトなので、最初にアクセスする際に「このサイトはセキュリティで保護されていません」等のメッセージが表示される場合もありますので、

「詳細設定」で表示項目を確認し、「～にアクセスする (安全ではありません)」等の項目を選択することでサイトを表示することができます。



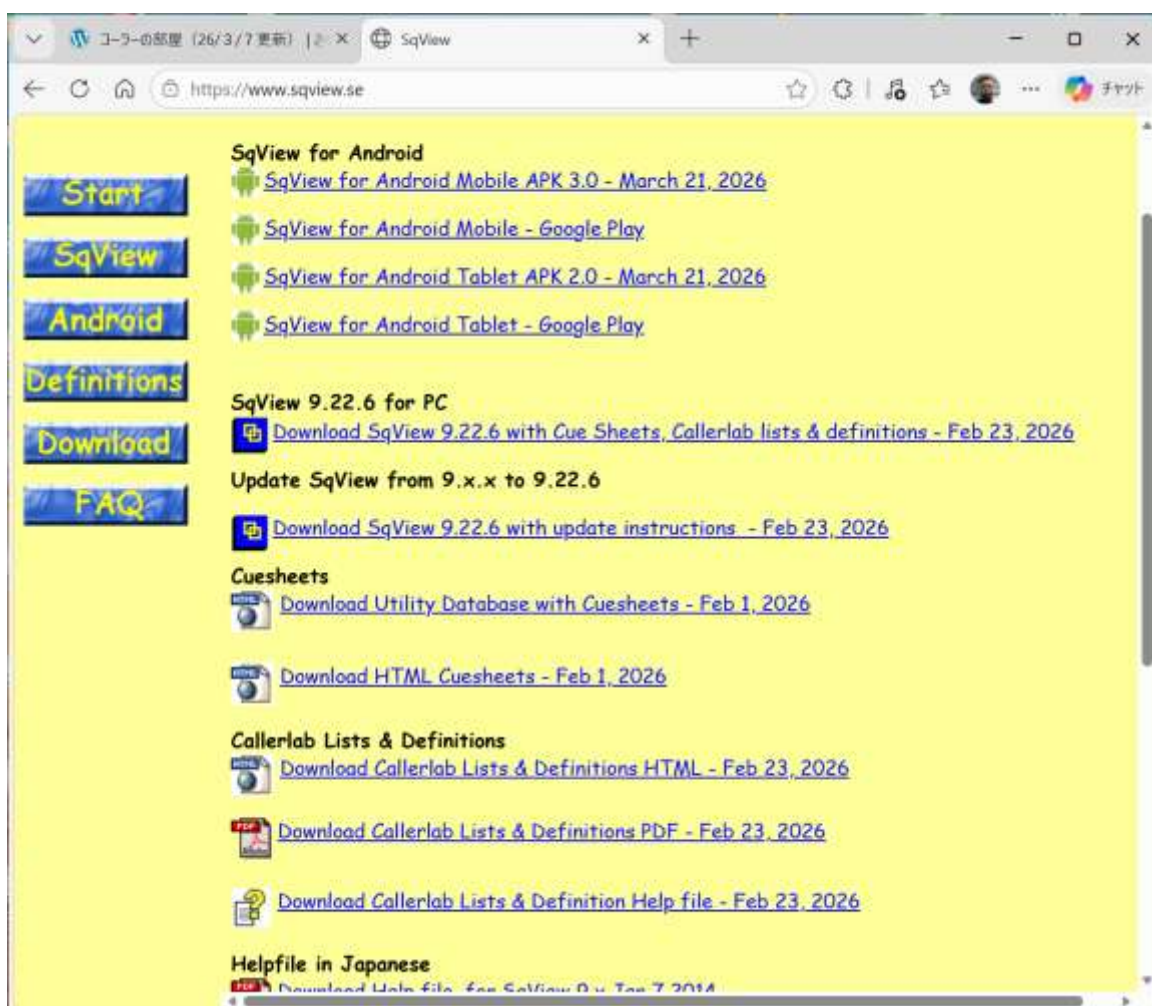
## ダウンロード画面

下のダウンロード画面から新規インストールの場合は「SqView バージョン for PC」の項目から先頭の「Download SqView バージョン with Cue Sheets, Callerlab lists & definitions - 改定日」を選択してダウンロードします。

※新規インストール用のファイルは容量が大きいのでダウンロードに時間が掛かります。

既に Sqview をインストールされている場合は、「Update SqView from 9.x.x to バージョン」から先頭の項目をダウンロードしてインストールしますが、この項目はプログラムとキューシートのデータベースの更新を行いユーザーの設定したリピート、テンポ、ピッチは保護されます。キューシートと定義のみを更新される場合ははプログラムの下にある「Cuesheets」と「Callerlab Lists & Definitions」からダウンロードして更新してください。

※既にインストールされている Sqview に新規インストールのプログラムを上書きするとユーザーの設定したリピート、テンポ、ピッチ等の設定が無効となります。



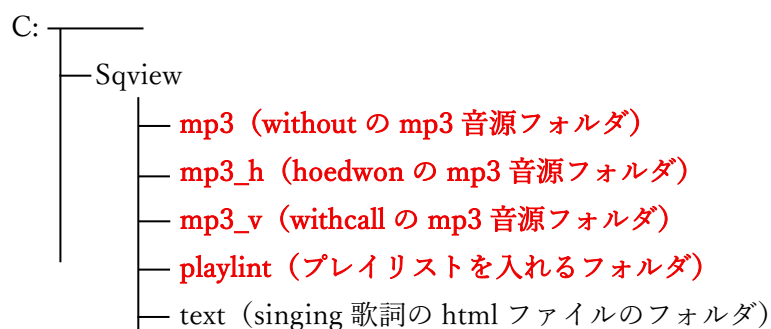
## Sqview のインストール手順

Sqview をインストールするフォルダ構成について

Sqview は以下のフォルダ構成でインストールすることをお勧めします。

以降の解説はこのフォルダ構成を前提としております。

**赤字のフォルダはインストール後に自分で作成する必要があります。**

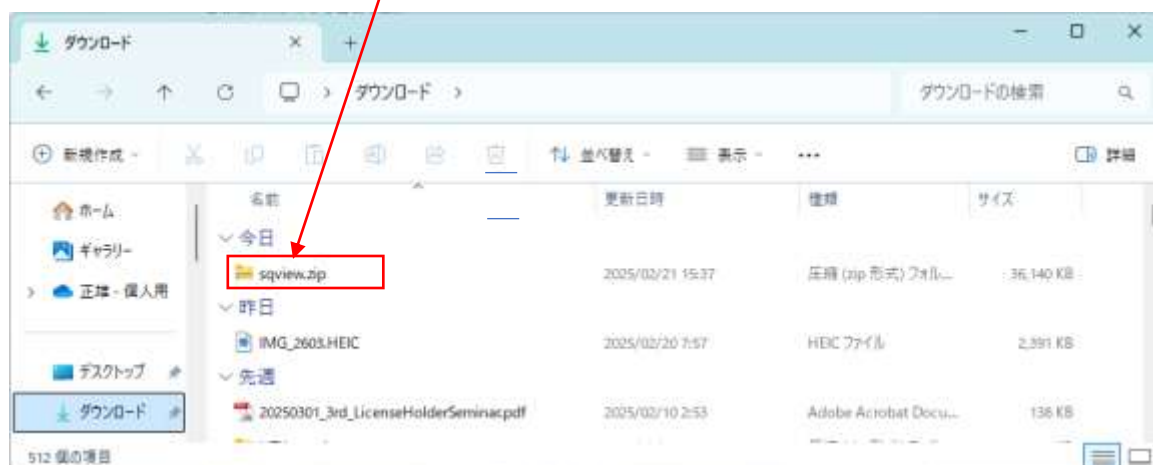


Sqview は SD や SDReader のようにインストールプログラムを使用しません。

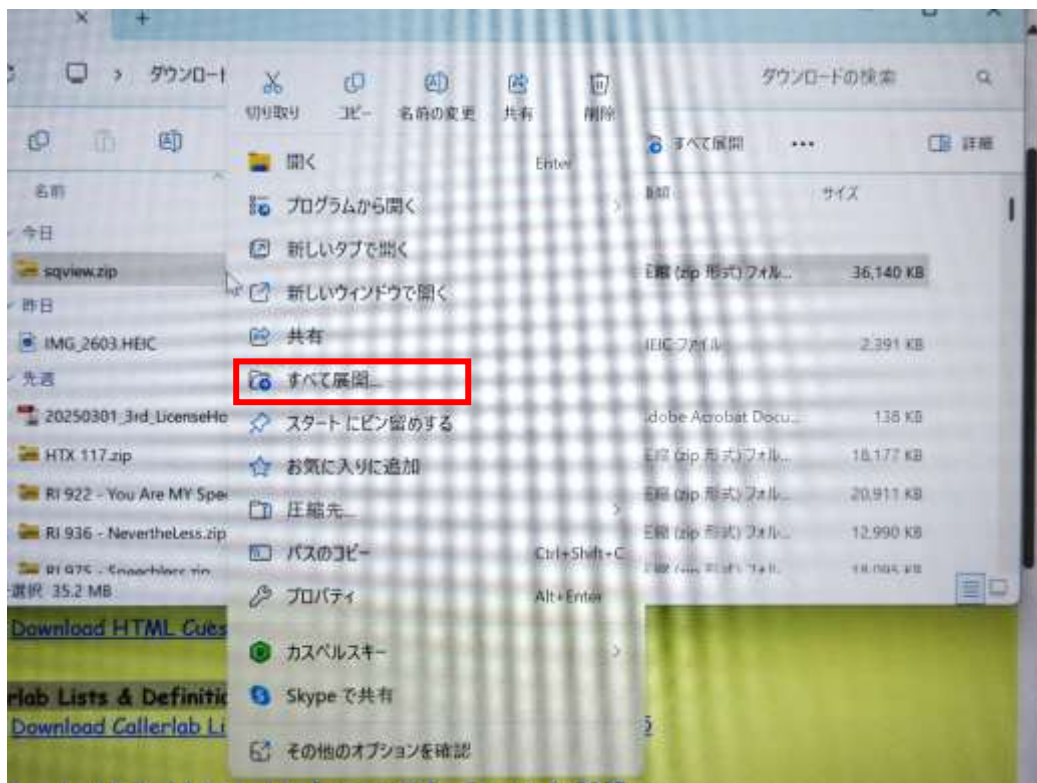
ダウンロードした圧縮ファイル (sqview.zip) から解凍した全データを Sqview 用のフォルダに展開するだけです。

簡単にインストールが実行されるため、Sqview をどこにインストールしたか理解しないまま、複数の場所にインストールされている方を多く見かけます。

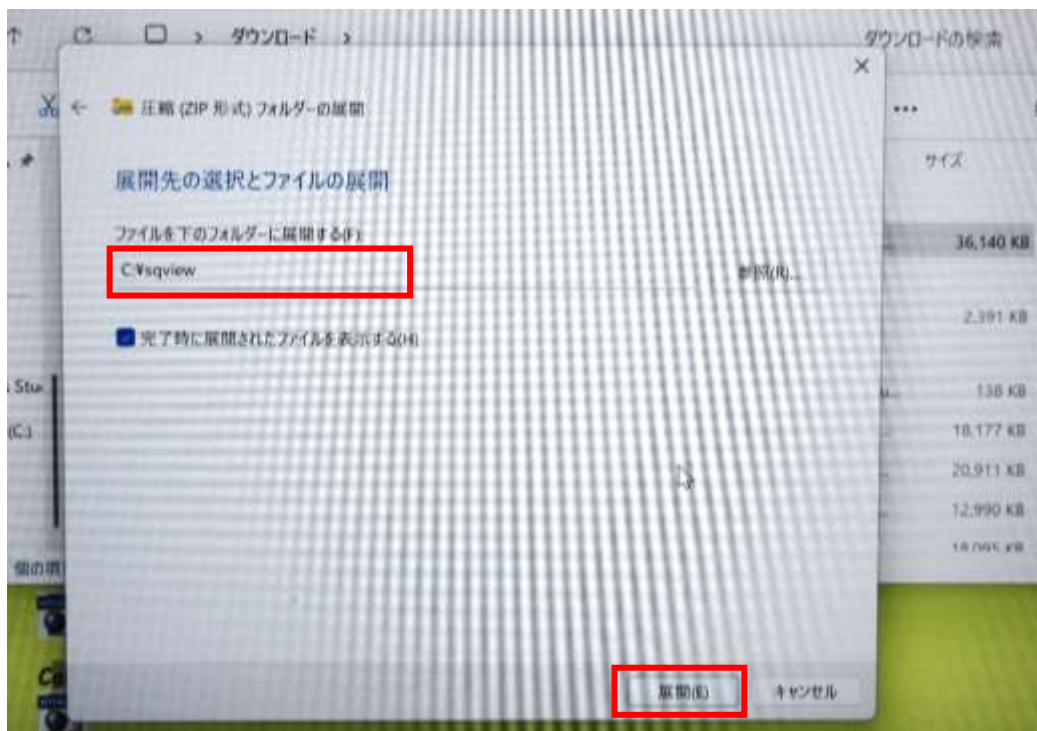
複数の場所にインストールすると音楽データの管理や歌詞のファイル管理が複雑となりますので、インストールするフォルダは一つだけにしてください。



ダウンロードされた「sqview.zip」を右クリックして表示される項目から「すべて展開」を実行します。

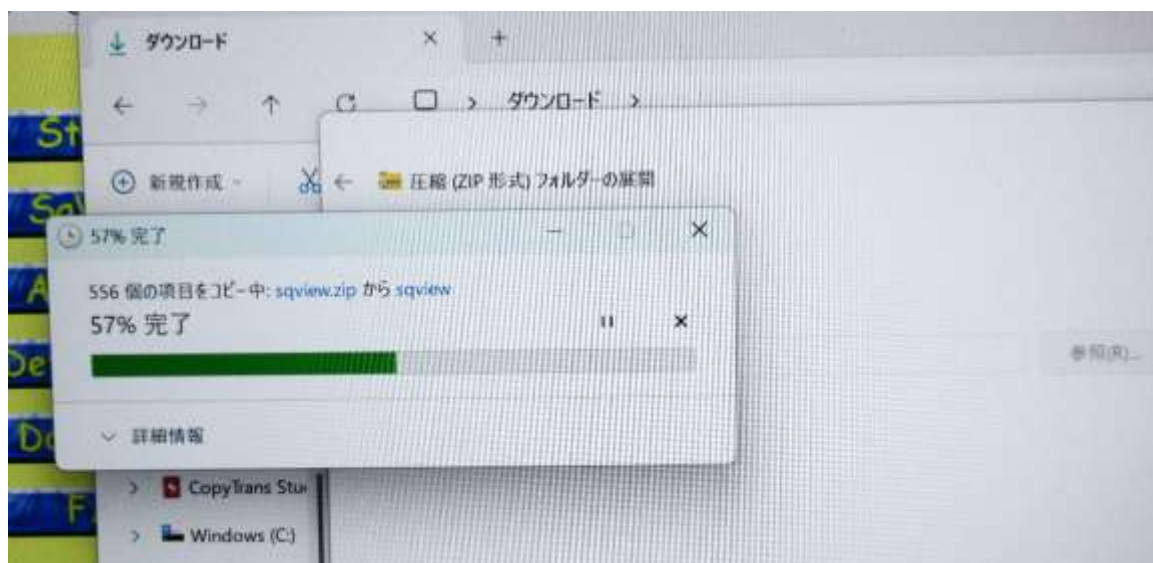


展開先のフォルダに「C:¥sqview」を入力します。



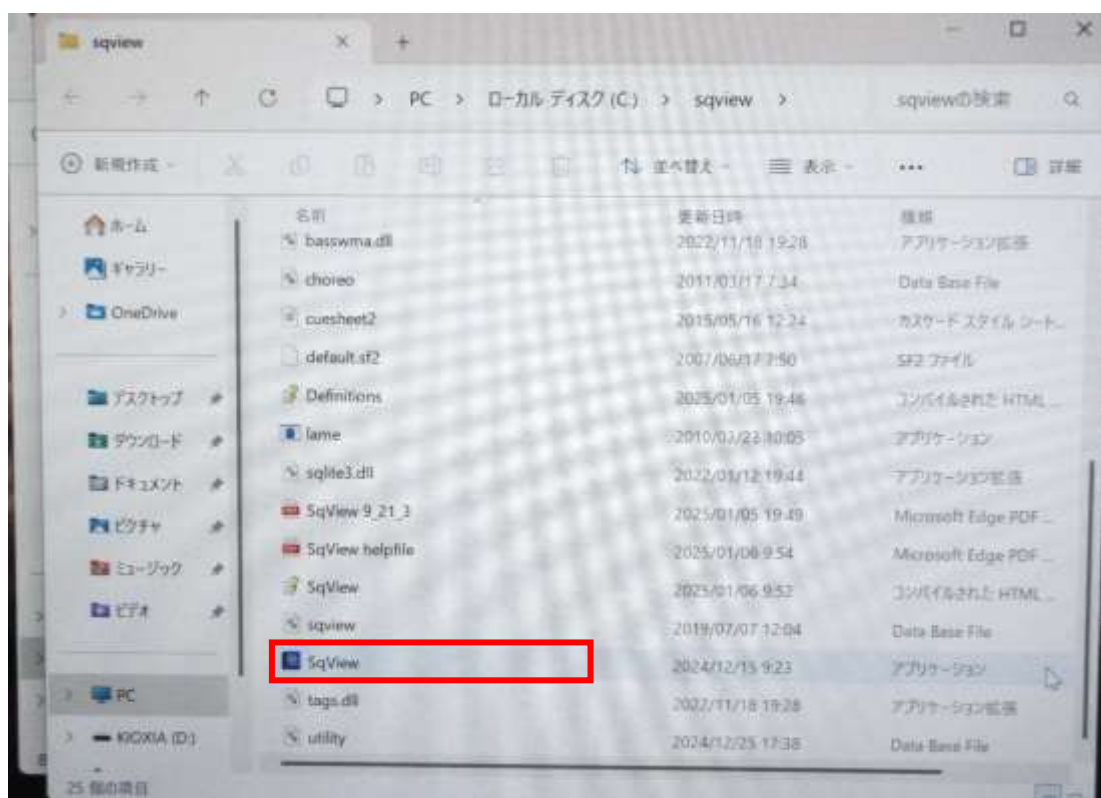
「展開 (E)」ボタンを押して圧縮ファイル展開します。

sqview.zip から c:\sqview フォルダにファイルが展開されます。

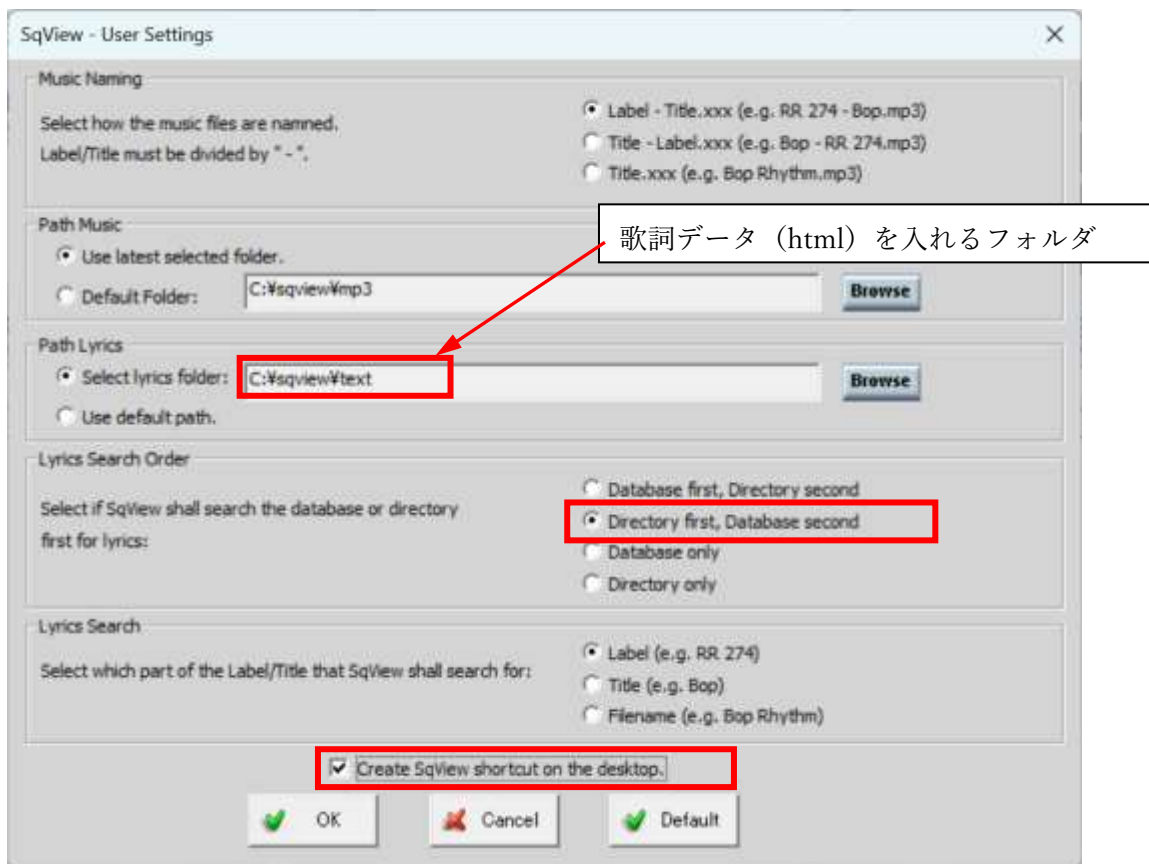


アップデートについても同様にダウンロードした圧縮ファイルを現在の Sqview のフォルダに解凍します。

展開された C:\sqview 内の sqview.exe を実行（ダブルクリック）します



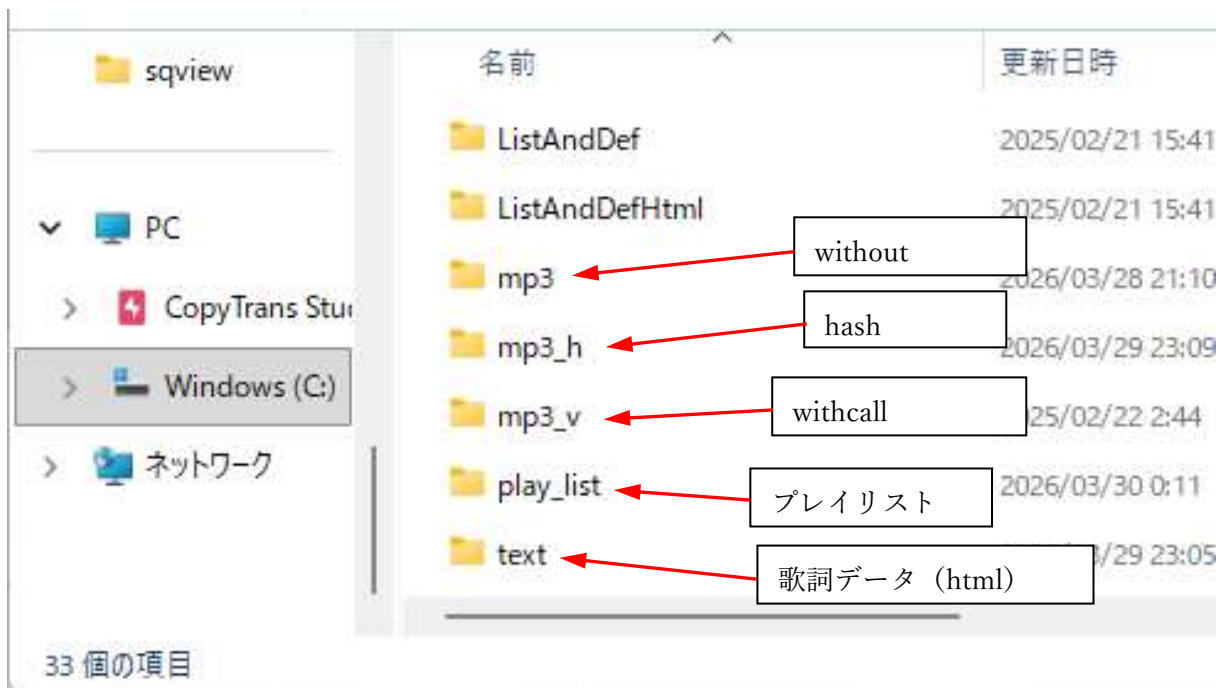
最初に以下のダイアログが表示されますので、赤枠の部分にチェックを入れて「OK」ボタンを押します。これでデスクトップに sqview のショートカットが作成されます。



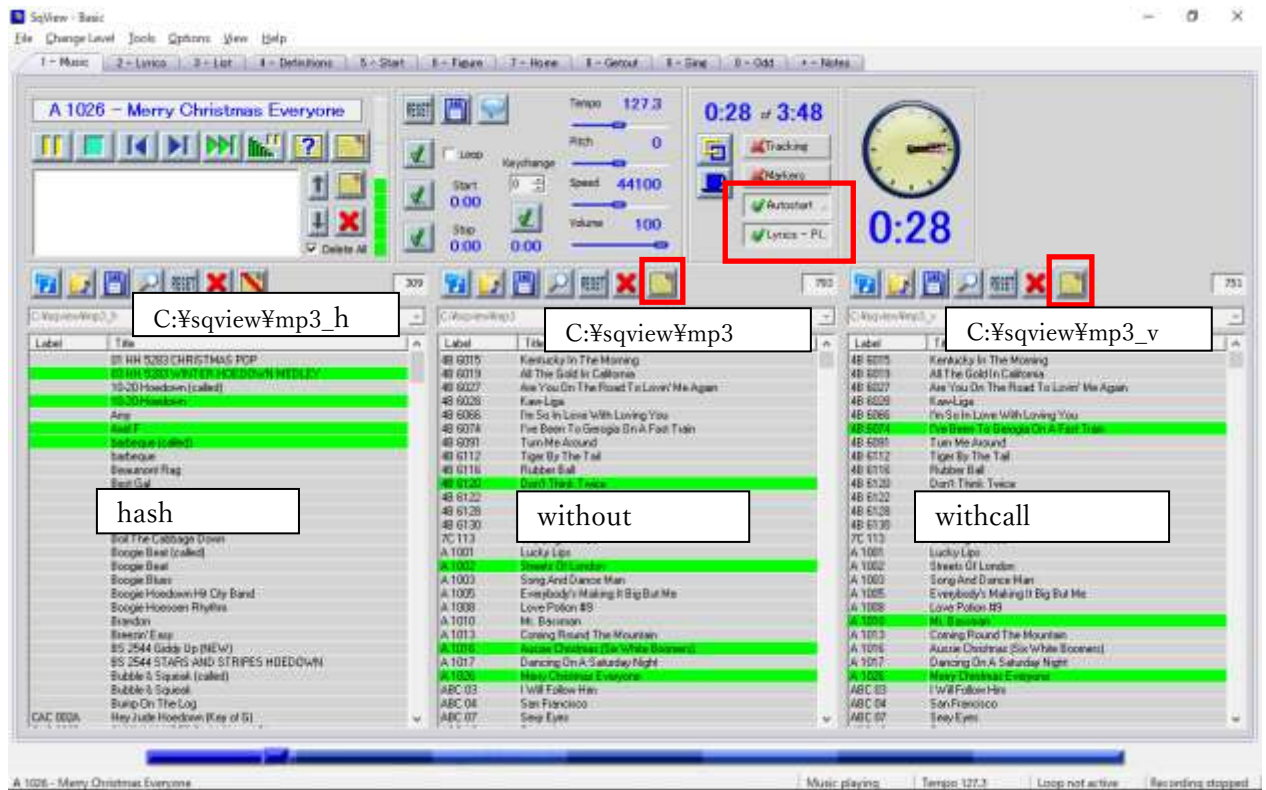
音楽データと歌詞データを入れるフォルダを作成

text フォルダはインストール時に自動的に作成されますが、音楽データ用のフォルダは使用者が作成する必要があります。

プレイリストを活用される場合は、プレイリスト用のフォルダ (playlist) を作成します。

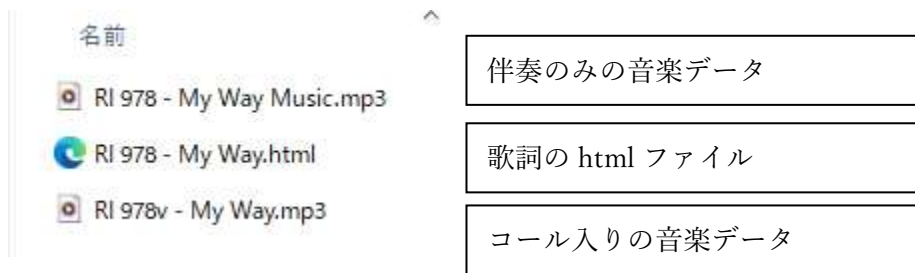


各リストと表示するフォルダの例



音楽データ購入時に注意する点

Music for Callers から音源を購入した場合、圧縮ファイルをダウンロードして解凍しますが、初期のファイル名が下記のようになっている場合があります。



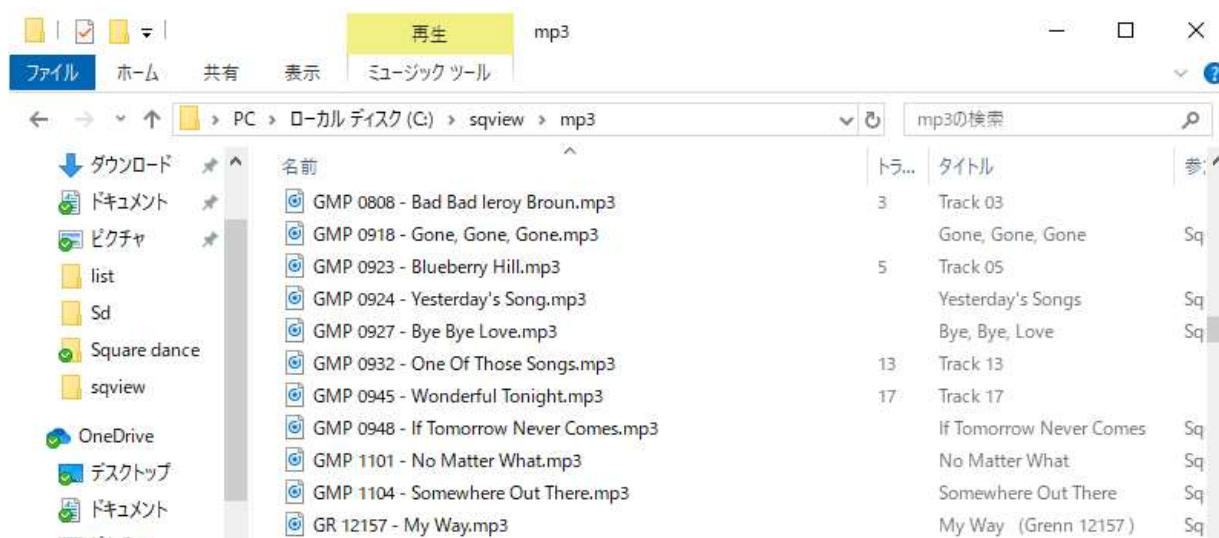
RI 978v - My Way.mp3 このファイル名が sqview の User Settings で設定した



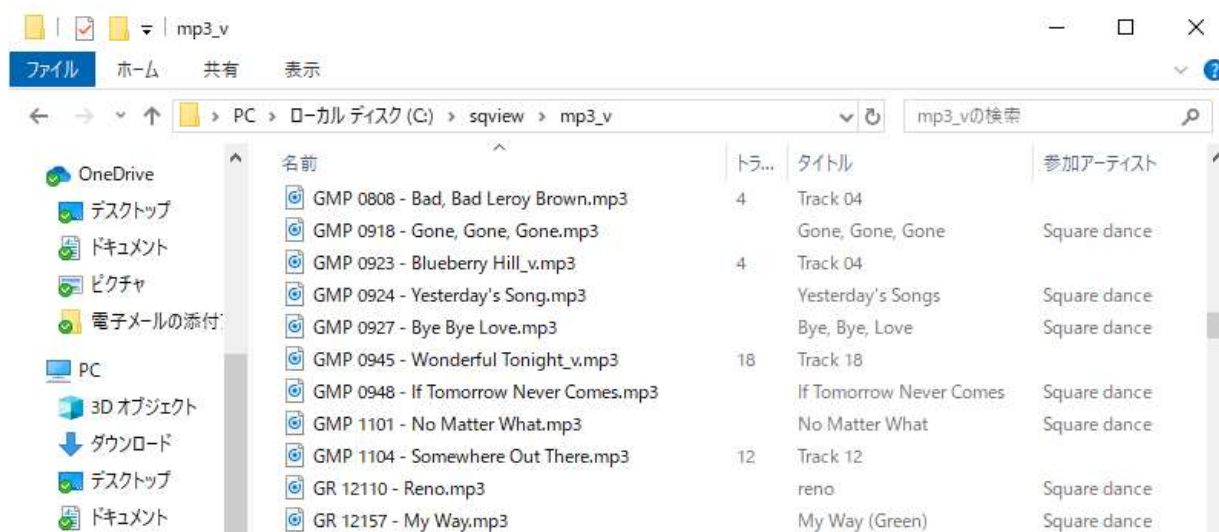
Level-Title.xxx の Level (レコード会社略号△レコード番号) の部分が歌詞の html ファイルの名前と異なってしまい、歌詞が自動で表示できなくなります。その対策としてファイル名を「RI 978 - My Way\_v.mp3」のように変更しておく必要があります。

ファイル名の付け方はレコード会社によって異なりますので、内容を確認してファイル名を変更してください。

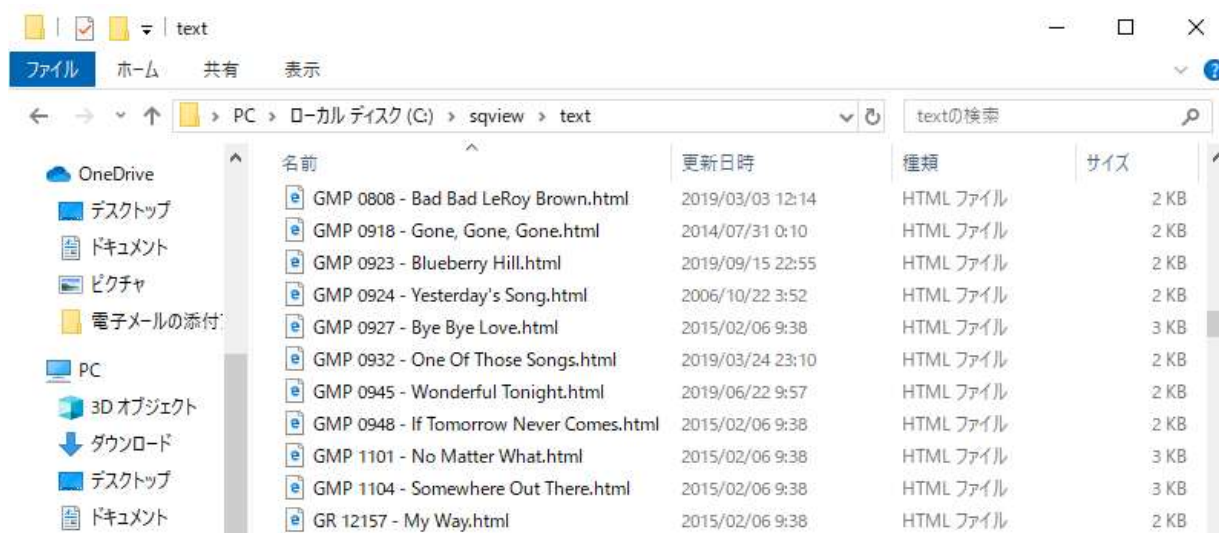
## データの登録例、音楽データ (without)



## 音楽データ (withcall)



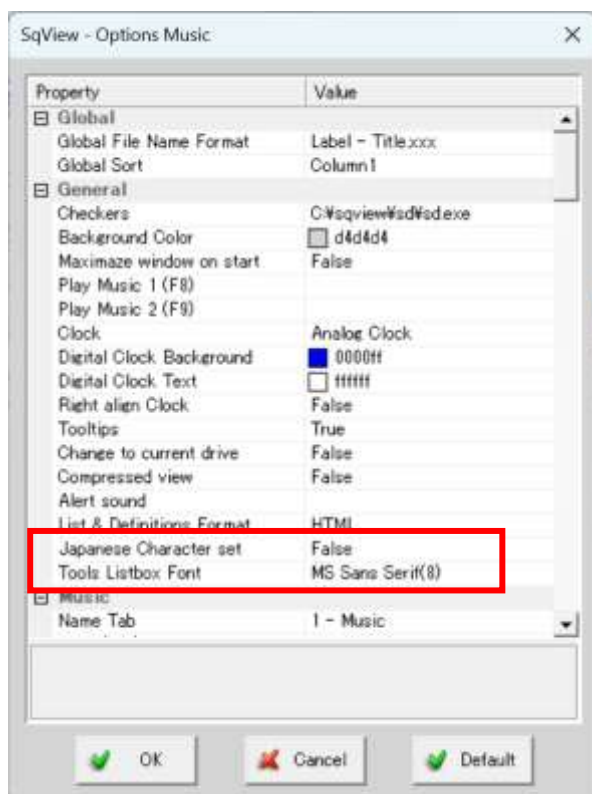
## 歌詞データ



SqView のオプション (Options) の設定項目について

SqView では幾つかのオプション設定を行う必要があります。

下の画面で「Options」をクリックして表示された選択項目から「Music」を選択します。



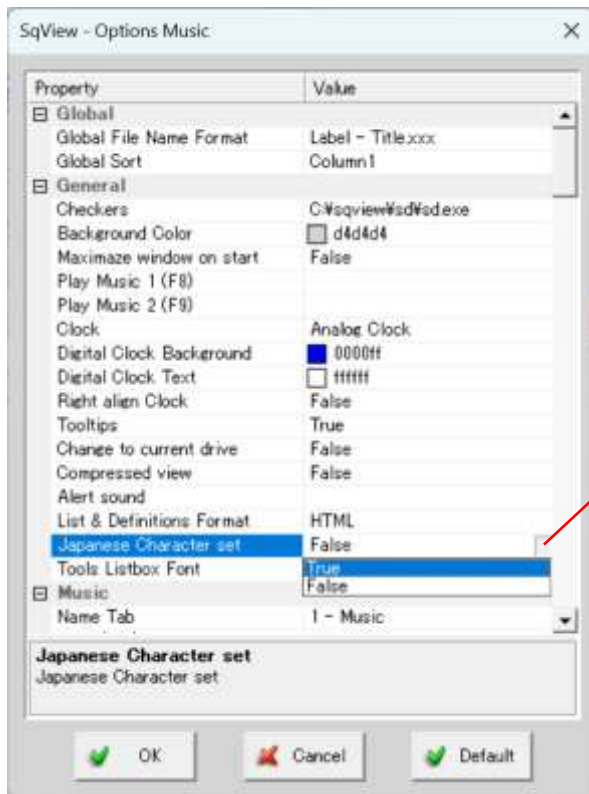
赤枠の「Japanese Character set」を False から True に

「Tools Listbox Font」を MS UI Gothic のサイズ 10 程度に変更します。

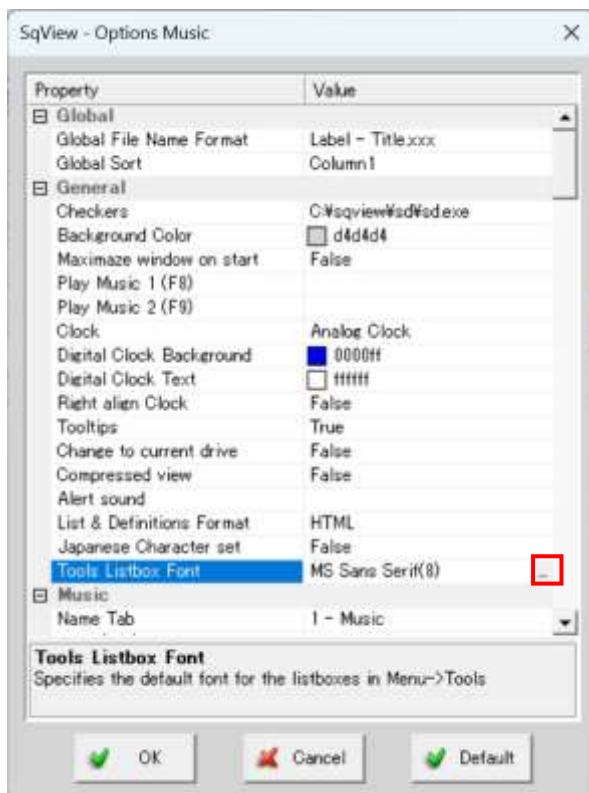
変更方法は「False」と表示されている枠の右端をクリックすると選択肢が表示されますので選択肢から「True」を選択します。(次画面参照)

「Tools Listbox Font」のフォント変更も同様に現在の「MS Sans Serif(8)」の枠の右端をクリックするとフォント選択のウィンドが表示されます。(次頁下図参照)

「Japanese Character set」の変更画面（False から True）

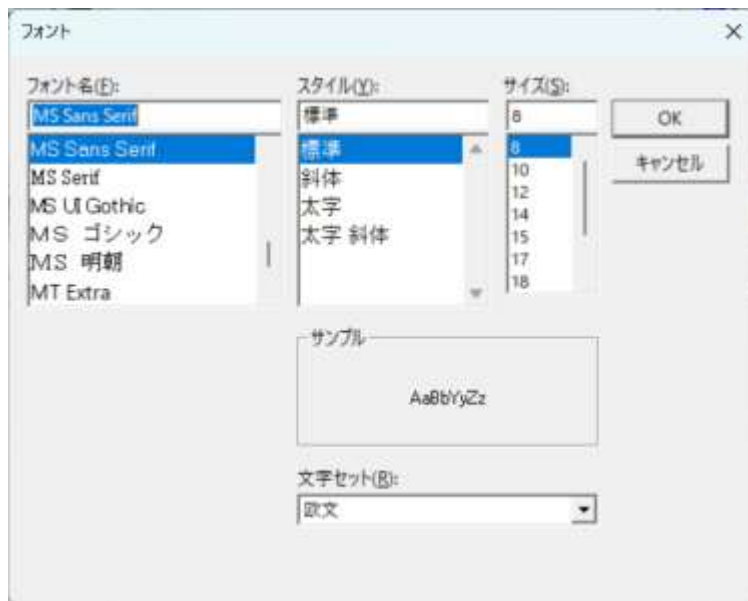


False の枠を選択して、  
枠の右端をクリックし  
て「True」を選択

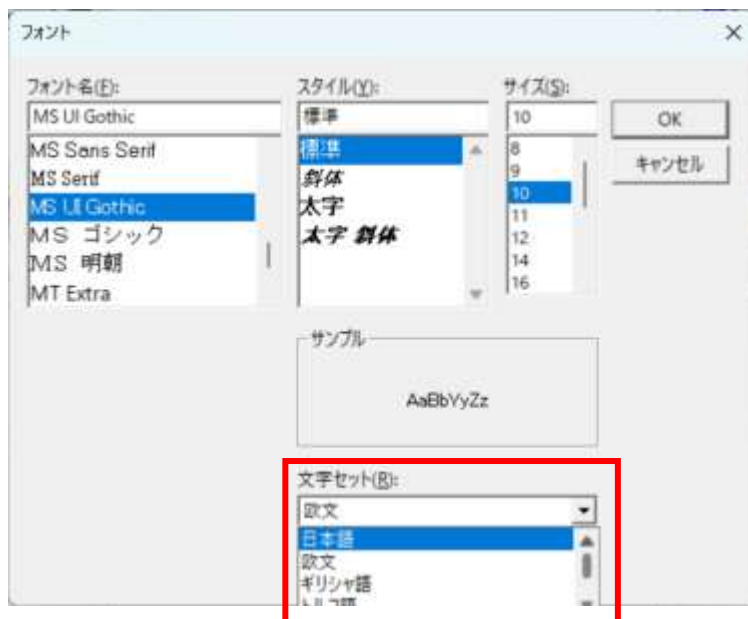


「Tools Listbox Font」の変更画面、画面の赤枠の部分をクリックしてフォント変更画面を表示する。

フォント選択の初期画面、日本語表示が可能な文字セットを選択 (例:MS UI Gothic)



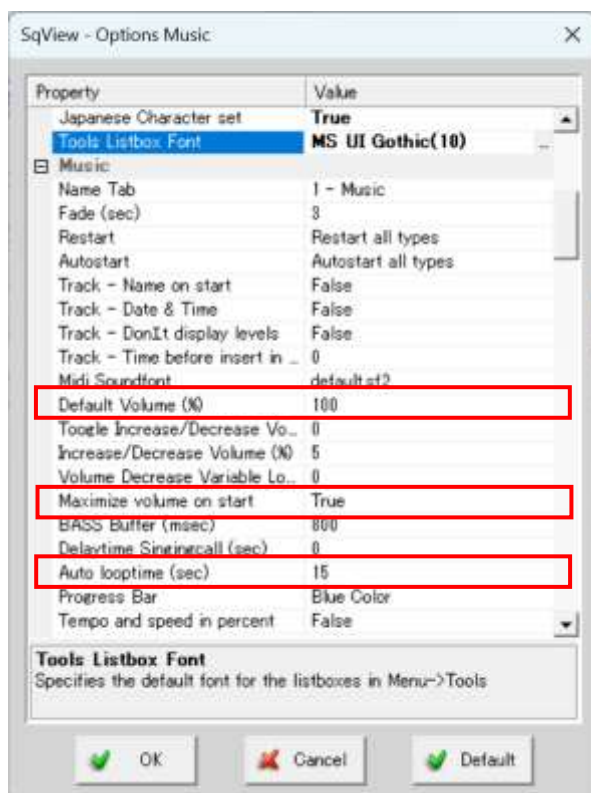
下部の文字セット(R)を「欧文」から「日本語」に変更する。



## 変更後のオプション画面



必要に応じて以下の項目を変更します。

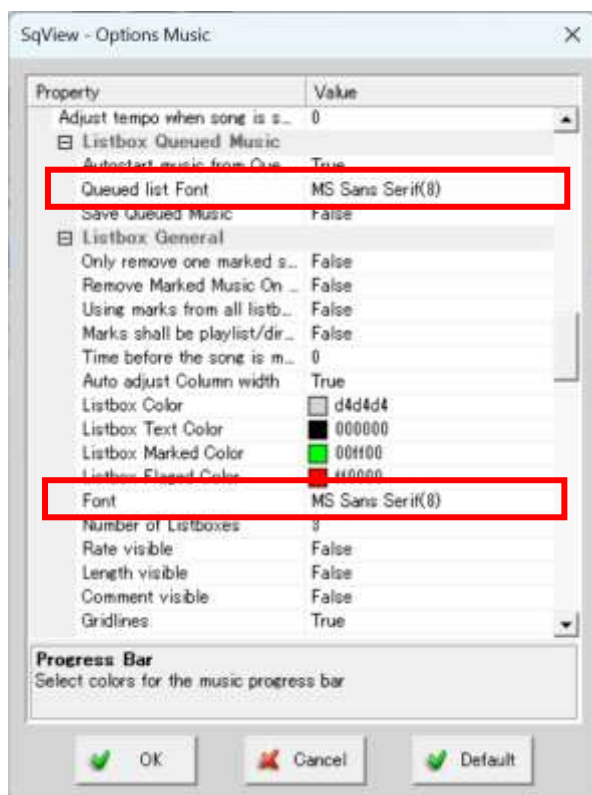
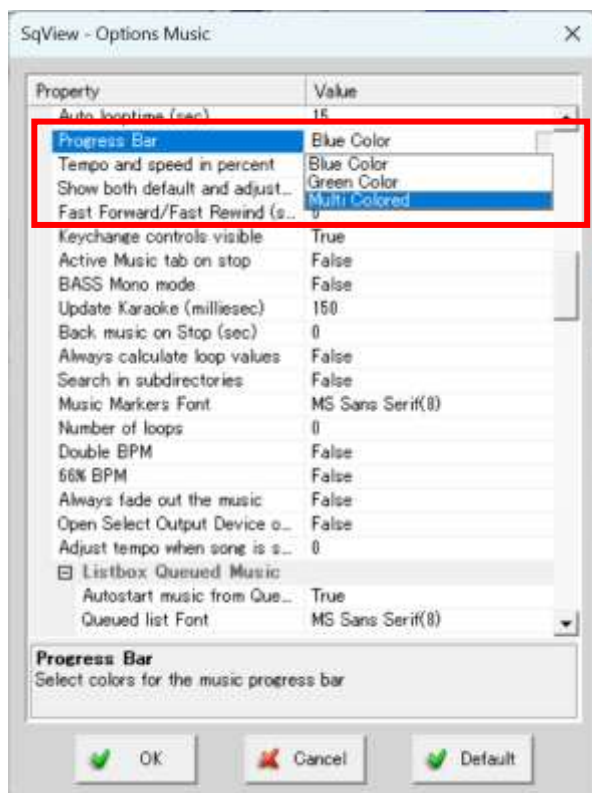


「Default Volume(%)」 SqView の Volume の値を設定します。

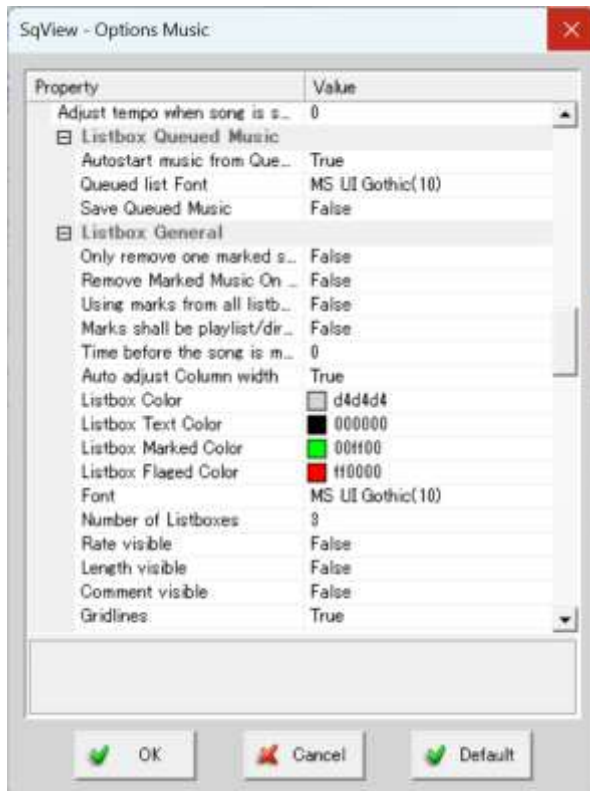
「Maximize volume on start」 True で sqview を起動した際に PC の音量を最大にする。

「Auto looptime(sec)」 繰り返しの際の前後の時間設定 (秒)

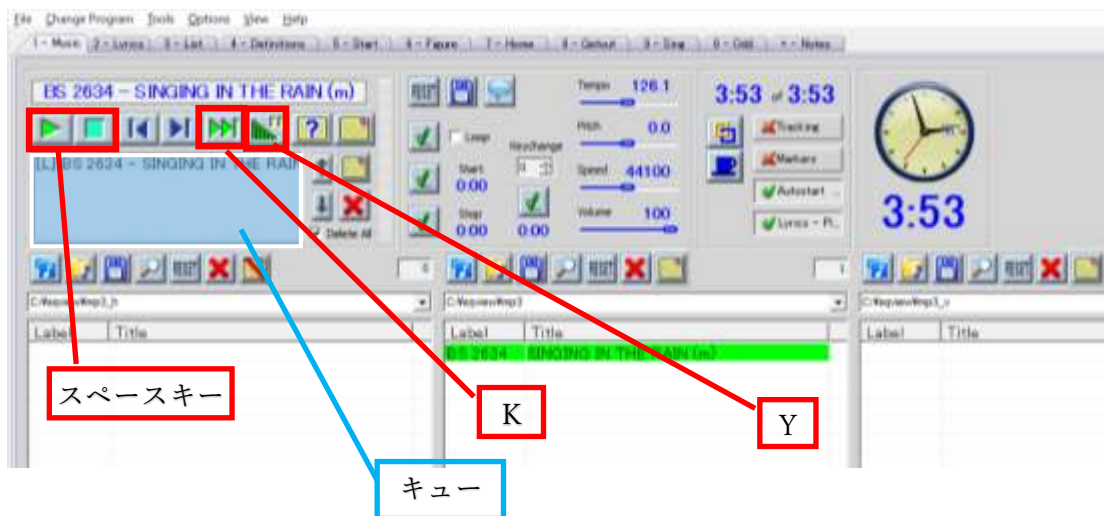
画面下部に表示される音楽の進行度合いを表示するバーの色を選択します。  
青、緑、マルチカラーから選択します。(マルチカラーをお勧めします)








キューリストとリストボックスのフォントを設定します。



設定完了後の SqView の画面とキーの対応について



-  音楽スタート (スペースキー)
-  音楽のストップ (スペースキー)
-  キューに登録された次の曲を再生「K」
-  音楽のフェードイン「Y」
-  音楽のフェードアウト「Y」

## HotKeys (ショートカットキー) の説明

ホットキーとは、マウスを使わずにキーボタンを押すだけで操作するための、簡易操作ができる機能です。

詳細の確認は、Options タブの Hotkeys をクリックしてください。



よく使用するキーは、下記です。

音楽のプレイ・ストップ = SPACE

Tempo を遅くする。 = E

Tempo を早くする。 = R

Pitch を低くする。 = D

Pitch を高くする。 = F

Speed を遅くする = C

Speed を早くする = V

Volume を小さくする。 = B

Volume を大きくする。 = N

Fade in, Fade out = Y

曲の頭出し = . (ピリオド)

※Sqview でのテンポ表示は不正確な場合があるので注意が必要です。



## Tempo (テンポ) と Pitch (ピッチ) の調整について

昔のシンギングにはテンポの速い曲が多く、130~134の速いテンポの曲があります。現在のダンサーには早すぎる場合もありますので、ダンサーに合わせてテンポを調整する必要があります。

私が使用する Hush とシンギングのテンポの目安は、ビギナー講習等 122~124

例会のダンス 124 程度、パーティでのコール 124~126 等コールする環境で変えるようにしています。

シンギングの音域が合わない場合はピッチ (キー) の変更をして、自分の声の音域にあったピッチ (キー) に変更して無理なく歌えるようにします。



Tempo を遅くする場合は「E」、早くする場合は「R」

Pitch (キー) を低くする場合は「D」、高くする場合は「F」

## 用語の説明

Tempo テンポ.

曲が演奏される速度

- ・テンポを変えても音の高さはそのまま。速さだけを変えられる。

Pitch ピッチ

音高、調子、音の高さ(音の高低)

- ・ピッチを変えても曲の速さはそのまま。曲の高さだけを変えられる。
- ・ピッチは、半音毎に上下に変えることができる。

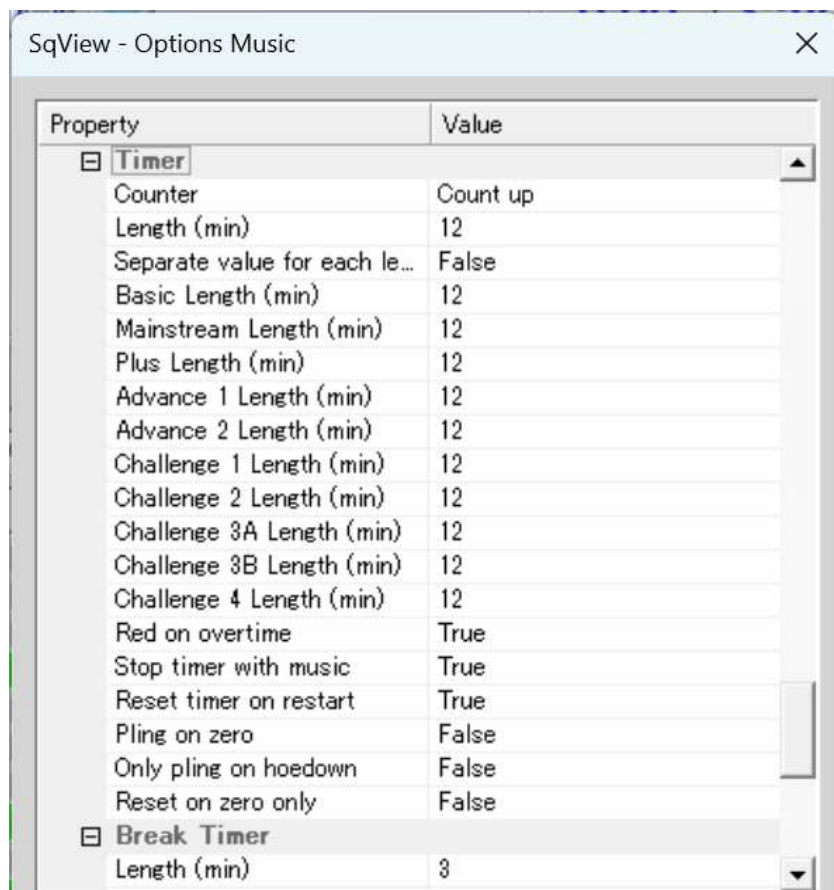
Speed スピード

音楽のスピード。

- ・スピードを変えるとピッチおよびテンポが変わる。
- ・曲の速さを速くすると音が高くなり、遅くすると音が低くなる。
- ・ピッチ (音の高低) が変わるので要注意

## タイマーのセット

「Options」の「Music」で表示される画面の最後の部分に「Timer」と「Break Timer」のオプションがあります。



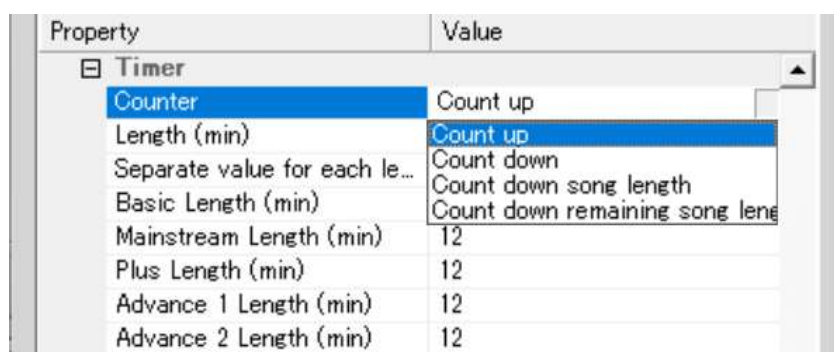
Counter で設定できるのは、 ※下図参照

Count up 0秒から時間が増加するタイマー

Count down 「Lenth(min)」で設定した時間から減っていくタイマー

Count down song length 使用した曲の時間から減っていくタイマー

Count down remaining song length 使用した曲の時間から減っていくタイマー



Count down song length に設定した場合の画面



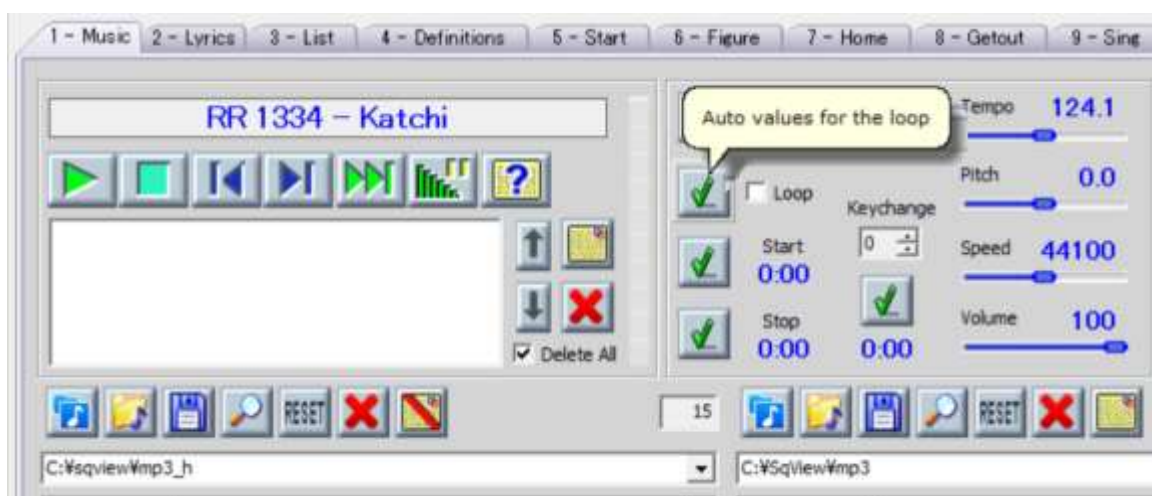
この他にも

Separate value for each length を True に設定すると Change Program のレベルごとにタイマーの時間を設定することができます。

Red on overtime は設定した時間を超過した場合に時計表示を赤色に変更します。


Stop timer with music を False に変更すると説明等で音楽を止めても時間のカウントは停止しないので、セッションのトータル時間が判ります。

## Hash のループ設定



・曲の前後 15 秒ずつのポイントでループが設定されている。

※ループ時間の設定については 12 ページを参照

・-Auto values の  をクリックするとセットされる。

・曲に合わせて  Start 0:00 と  Stop 0:00 の  を押して曲別に設定することもできる。

※テンポやループの設定後は、必ず SAVE ボタン  を押して設定を保管して下さい。

## キューの使用法




画面の左上の領域がキューリストです。

1チップで使用する曲をここに登録して、登録した曲を順番に演奏することで曲を探したりする時間を節約することができます。

キューへの登録方法は登録したい曲を選択して「右クリック」を押すと選択した曲がキューに登録されます。



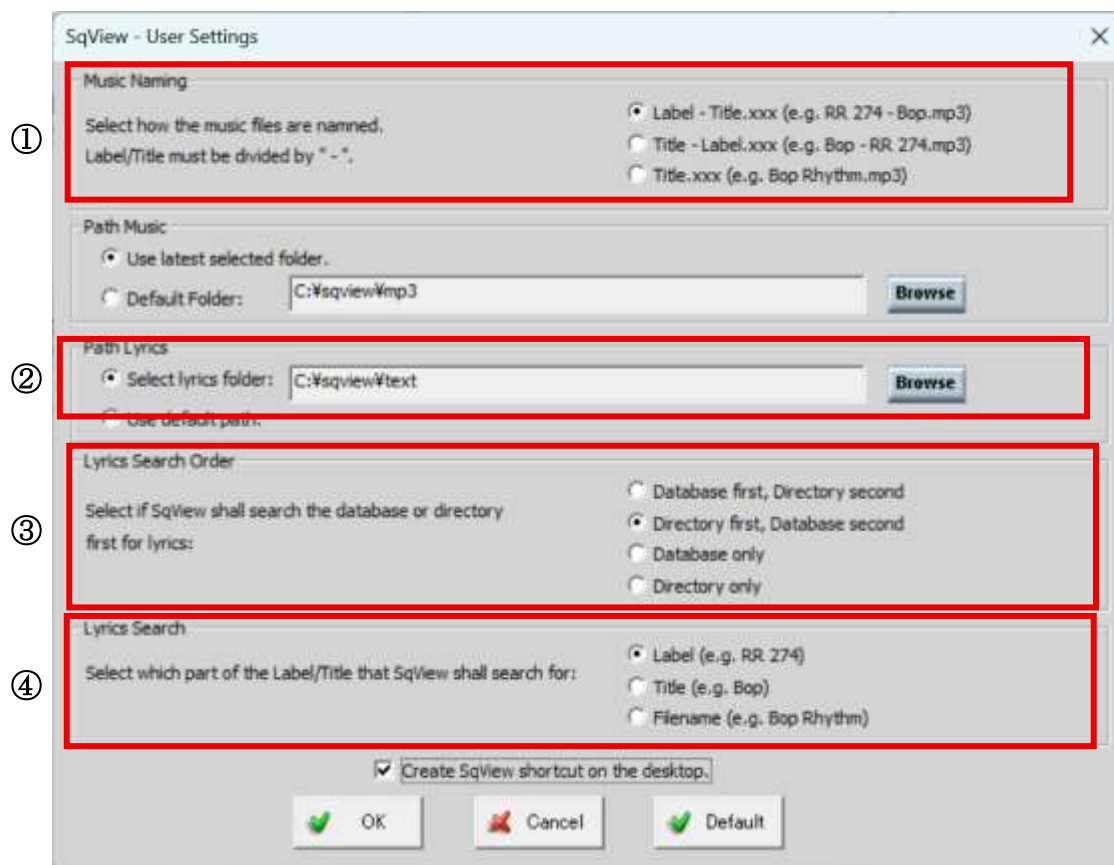
キューに登録した曲は  ボタンか「K」キーで上から順番に再生することができます。

キューに登録された曲は  ボタンでキューの順序を変更することもできます。

## 歌詞の自動表示の仕組み

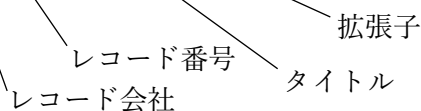
シンキングの曲を演奏する際に歌詞を自動的に表示する仕組みについて解説します。

SqVeiv はシンキングの歌詞データを持っていて 6 ページで設定した、以下の部分で音楽データと歌詞データを関連付けて表示します。



- ① 音楽ファイルの命名方法の選択、ラベル/タイトルは「△-△」（△は半角スペース）で区切る必要があります。ここでは Label - Title.xxx を選択しています。

実際のファイル名は「RR△448△-△Blue Moon.mp3」



のように RR（レコード会社の識別名）+△（半角スペース）+レコード番号+「△-△」区切り文字+タイトル+データの識別子で構成されており、④で設定した検索手順に従って歌詞の選択を行います。この例では④で設定したレコード会社の識別名とレコード番号が一致した歌詞データが表示されるようになっています。

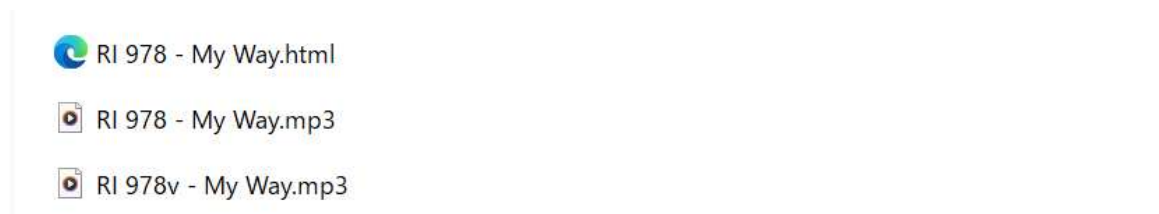
- ② 歌詞データの html ファイルを保管するフォルダ名を指定しています。

SqVeiv をインストールすると SqVeiv のフォルダ内に text フォルダが作成されます。

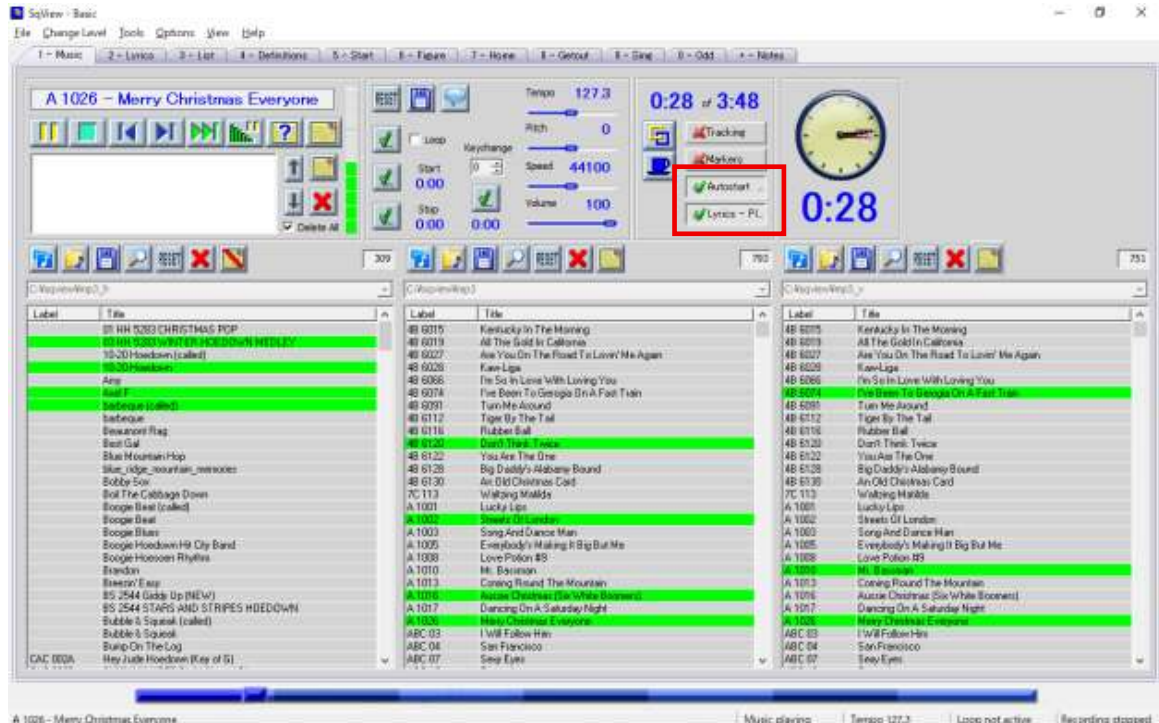
③ SqViewが歌詞を検索する際、データベースとtextフォルダの検索する順序を指定します。  
ここではtextフォルダを先に、その後データベースを検索するように指定しています。

④ 歌詞データの検索にラベル/タイトルのどの部分を使用するかを選択します。  
ラベル：①で設定した「△-△」前のラベル（レコード会社△番号）でデータを検索します。  
タイトル：①で設定した「△-△」後のタイトル名でデータを検索します。  
ファイル名：音楽フォルダに登録されているファイル名が一致したデータを検索します。

注意：レコード会社によっては、以下のように「With Call」のファイル名がレコード番号付加されている場合があります。この場合は「RI 978v-My Way.mp3」では、SqViewで歌詞の表示ができませんので、With Callで歌詞を表示するためには、「RI 978-My Way\_v.mp3」のように「△-△」前の文字を一致させるようにファイル名を変更する必要があります。



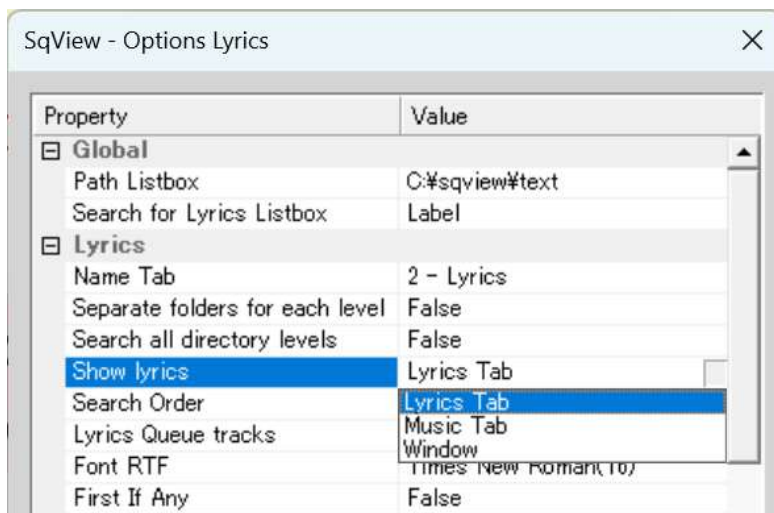
Label - Title.xxx の形式を選択した場合は、下図のように曲のリスト表示でLabelとTitleがそれぞれ表示されるので、選択が楽になります。



歌詞の自動表示を行う場合は、「Autostar」と「Lyrics-Pl…」ボタンを押した状態にしておいて下さい。「Autostar」…曲を選択すると演奏を開始、「Lyrics-Pl…」演奏開始時に歌詞を自動表示。

## 歌詞を表示する場所と文字サイズを設定します。

初期画面で「Options」をクリックして表示された選択項目から「Lyrics」を選択します。



「Show lyrics」の項目を選択して「Lyrics Tab」を選択します。

※デフォルトは「Lyrics Tab」に設定されています。

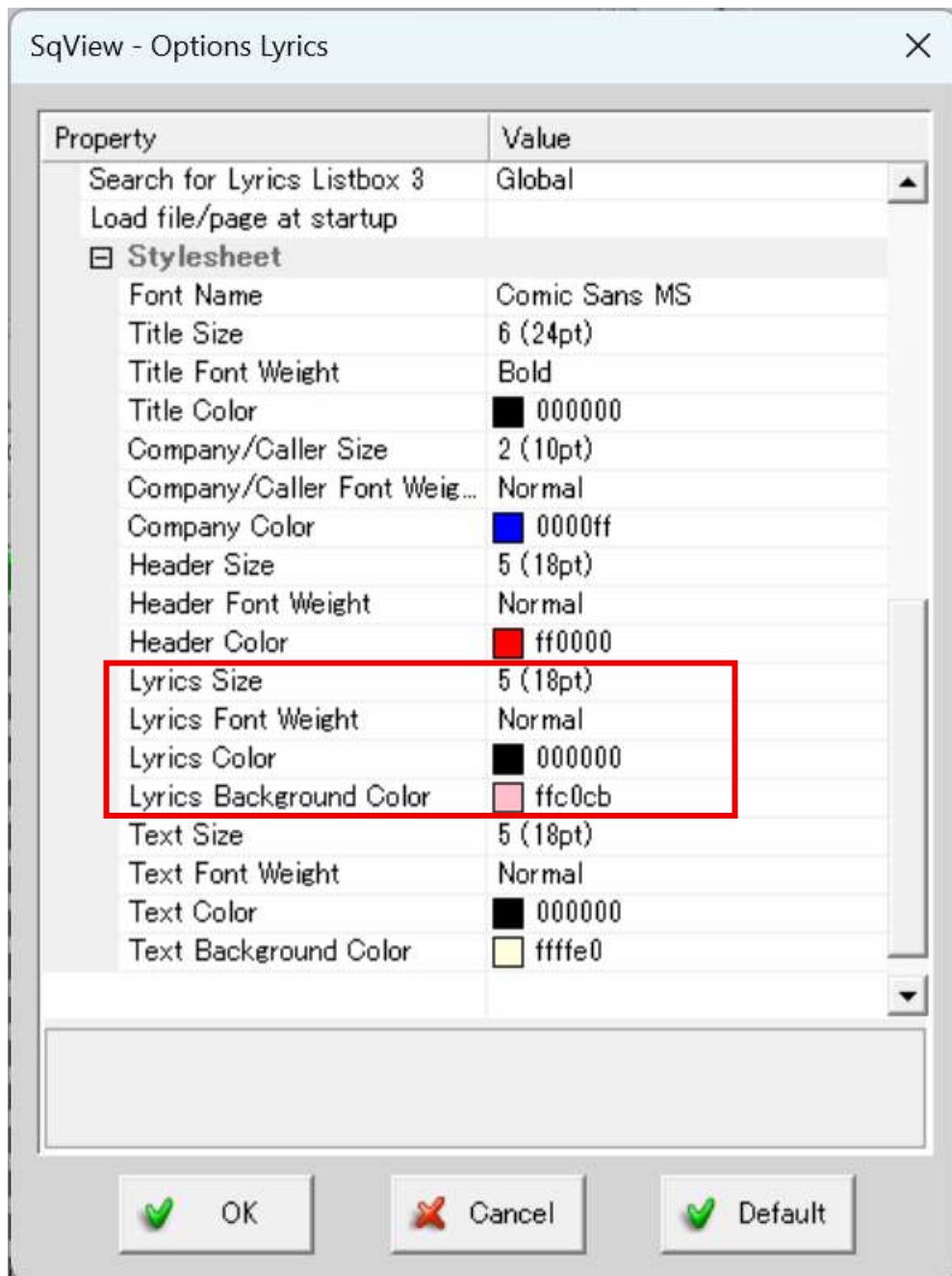
画面表示の例



※画面表示設定は「F6」キーで切替できます。

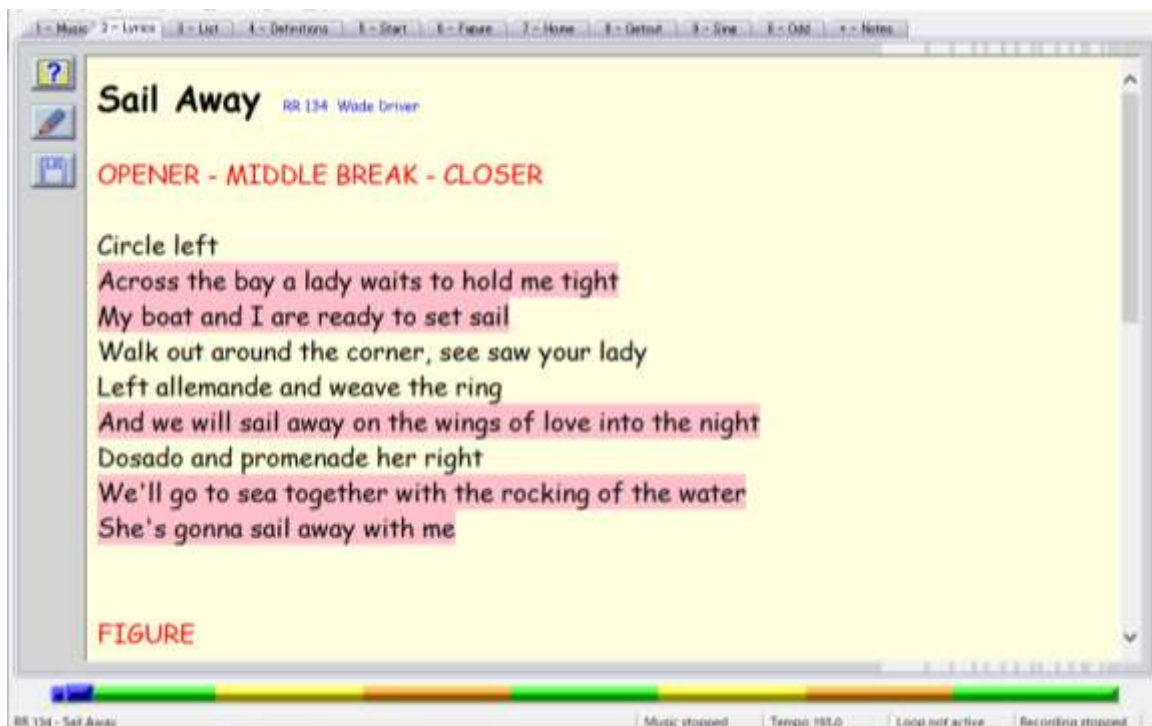
シンギングの歌詞表示はコール部分と歌詞部分に分かれています。

下の赤枠で囲った部分で歌詞部分の背景の色と文字の色とサイズを設定します。

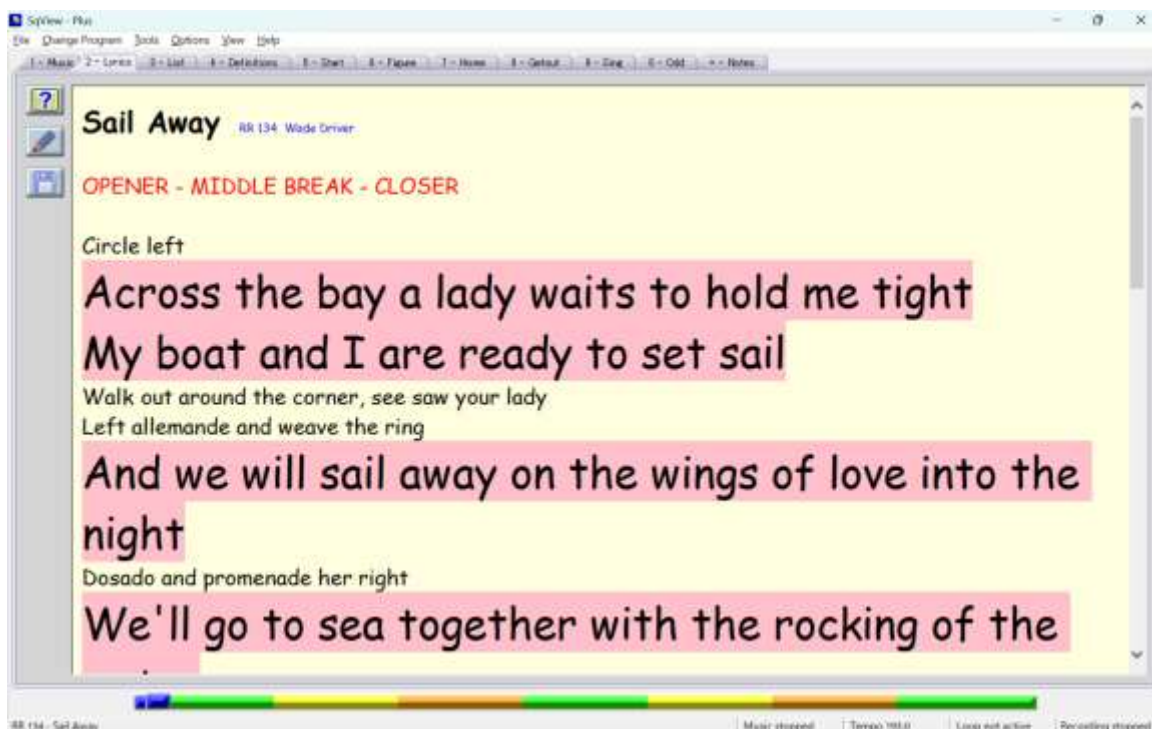


Options, Lyrics, Stylesheet は下記が Default (初期設定) になっています。

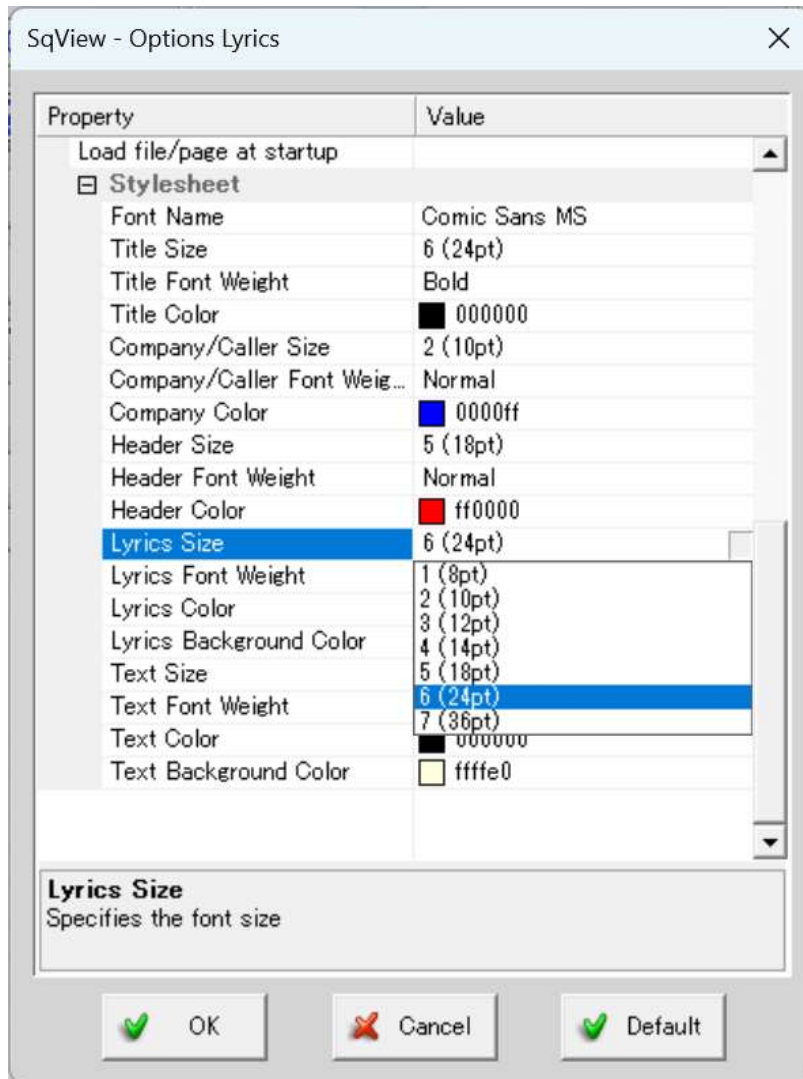
Default のままだと、次頁上段のように歌詞が見づらく表示されます。



Options, Lyrics, Stylesheet の Lyris Size を 7(36pt)に変更します。  
 Lyris Size を 7(36pt)にすれば、下記のように見やすくなります。



但し、画面に表示される行数が制限されますので、上下のスクロール操作が必要になり面倒です。Lyris Size を 6(24pt)にすることをオススメします。



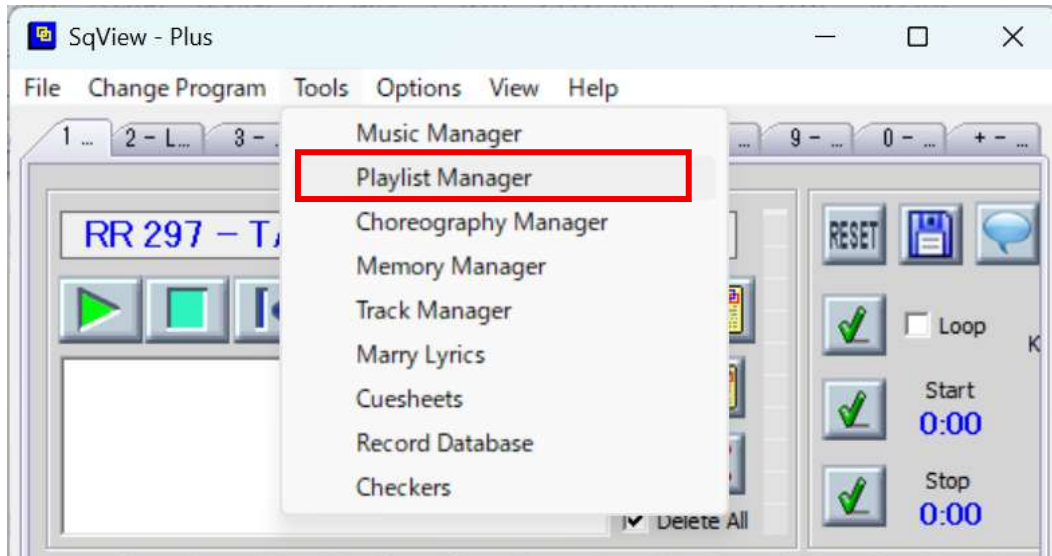
## Play List の作成と表示

プレイリストとは、事前に曲目リストを作成したもので、用途としては、下記のようなケースが考えられる。

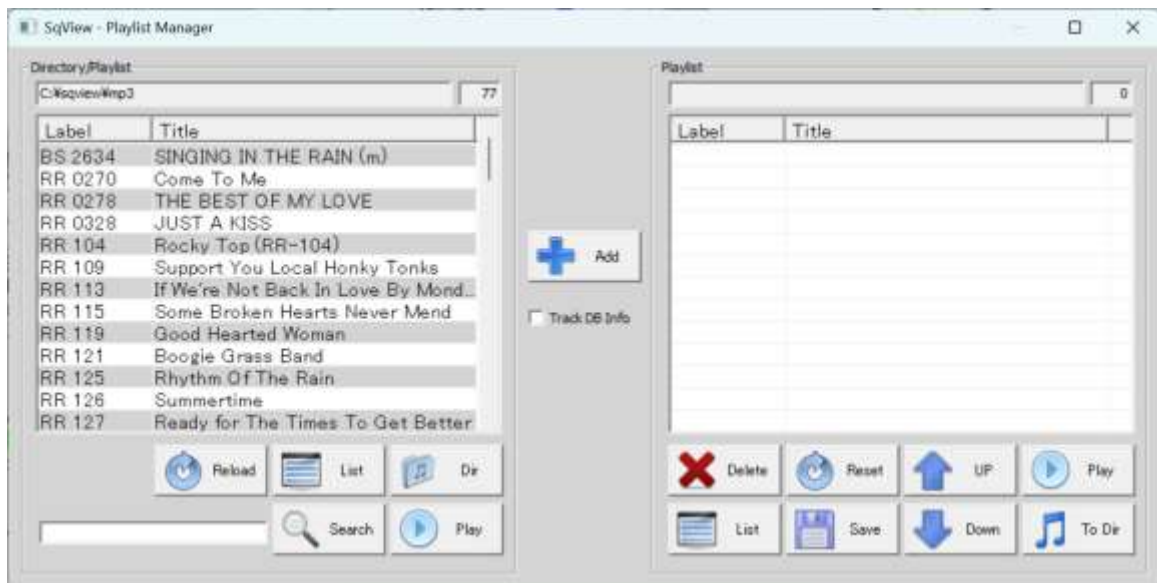
- ・ 季節や用途別にシンギング曲のリストを作成して使用する（例：クリスマス曲）
- ・ ゲストの時に1日のコールに使用する曲のリストを登録しておく。



プレイリストの利用で、選曲に時間を取られないでコールに専念することができます。

プレイリストの作成の仕方は Tools タブの Playlist Manager をクリックします。





Playlist Manager 画面が表示されます。

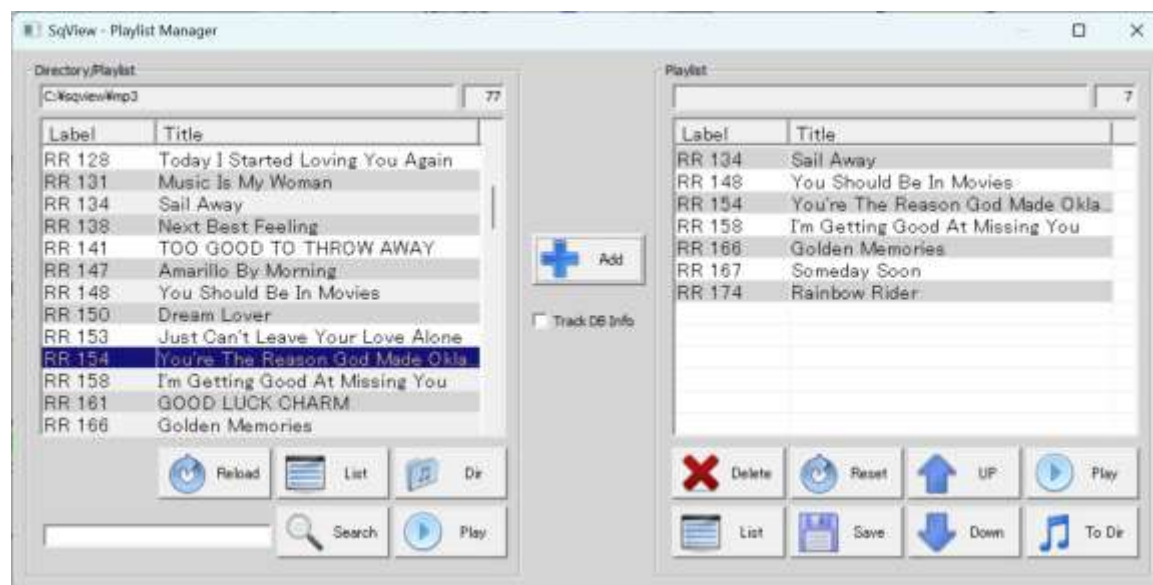


左側のボックスの  で選曲したい曲が入ったディレクトリもしくは  で既に登録されているプレイリストを選択すると、上部に選択したディレクトリやプレイリストに登録されている曲の一覧が表示されます。

新規に作成するプレイリストに登録する曲をクリックし、ADD ボタンを押して右側のボックスに入れます。(複数選択しての登録も可)る。この時、ファイルが移動したりコピーされる訳ではありません。

右側のボックスで  ボタンを押して既存のプレイリスを選択することで、登録済のプレイリストの内容を変更することもできます。

プレイリストの変更後は  ボタンでプレイリストの保存を実行してください。



選択された曲をプレイリストから削除します。



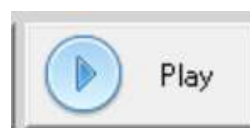
プレイリストの登録曲を全て削除します。



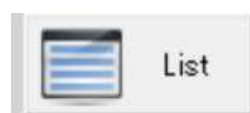
選択した曲を上部に移動します。



選択した曲を下部に移動します。

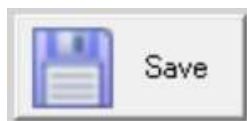


選択した曲を再生します。

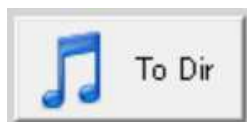


登録されているプレイリストを表示します。

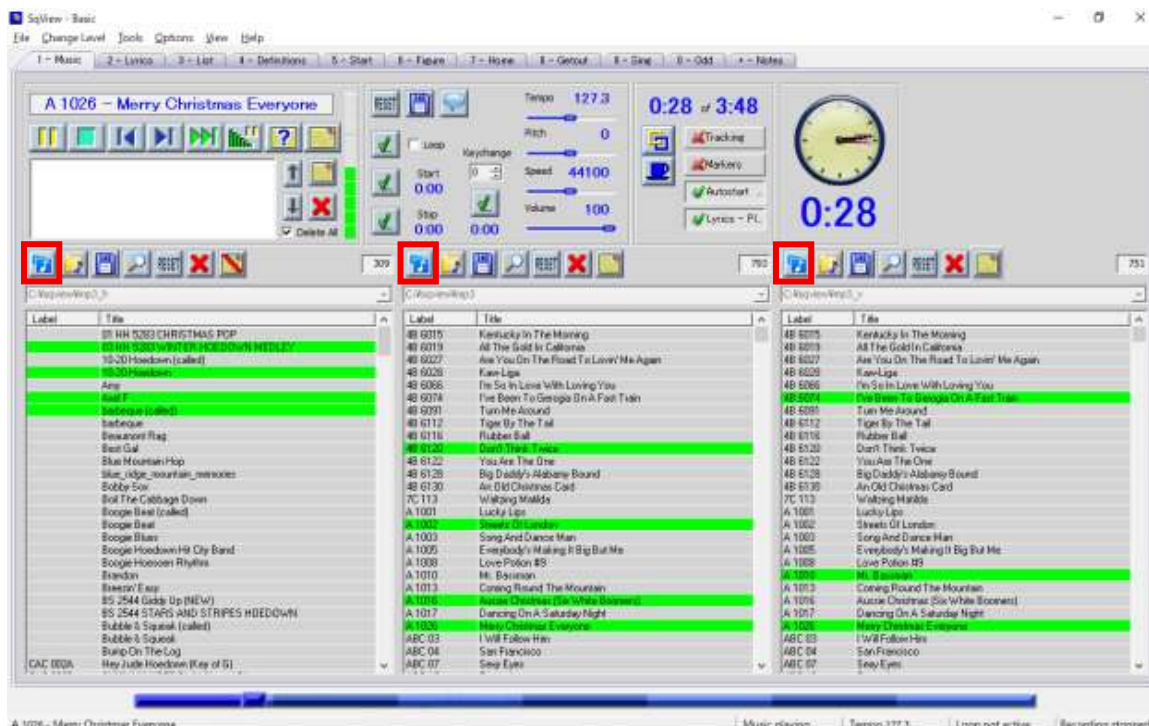
登録済のプレイリストに曲を追加・削除する際は変更したいプレイリストを選択して追加・削除を行います。




作成したプレイリストを保存します。



プレイリストの音楽データを選択したディレクトリにコピーします。



作成したプレイリストは-Select a playlist アイコン  をクリックするとプレイリストが表示されるので、使用するプレイリストを選択します。